

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 15 日作成)

| | | | |
|------------------------------|--|--------------------------------|-----------------------------|
| 小委員会名 | 光環境デザイン小委員会 | | 主 査 名：中村芳樹 就任年月：2004 年 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 環境工学本委員会 (光環境運営委員会) | | 委員長名：加藤信介 主 査 名：井上容子 |
| 設 置 期 間 | 2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月 | | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き) | <p>・(具体的な目標)</p> <p>光に関わる環境工学者と光に興味をもつ建築家が委員会を構成することで、(1)それぞれの領域で構築してきた光・見え方に関する知識を体系化し、(2)建築設計において両者のコラボレーションが進むような仕組みを作り、(3)光環境に関する基礎研究から得られた知見が、デザイン領域で必要とされる情報を出力できるよう、両者の関係についての情報発信を行う。</p> | | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | 委員公募の有無：あり | | |
| | 石井大五(フューチャースケープ建築設計事務所) 井上容子(奈良女子大) 岩田利枝(東海大) 遠藤 和広((有)イオス設備工房), 内田伸(石川高専) 小泉隆(九州産業大学) 佐藤勉(佐藤勉設計事務所) 中村芳樹(東京工業大学) 野澤壽江((株)近田玲子デザイン事務所) 鈴木 広隆(大阪市立大学) 松下 進(松下進建築・照明設計室) 三木 保弘(国土交通省国土技術政策総合研究所) 吉澤 望(東京理科大学) 東海林弘靖((有)ライトデザイン) | | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | 光環境デザイン・出版検討 WG(前進の WG が主催したシンポジウム、mail 会議の内容を求め、出版にいたるための準備を行う。) 光環境デザイン・シンポジウム WG(これまでの知見で不十分な点を調査し、そのような点を補充する知識を得るため、建築家、光環境調査報告などを交えたシンポジウムを開催する。) | | |
| 2005 年度予算 | 48,000 円 | ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス： | |

| 項 目 | 自己評価 |
|--------------------------------|---|
| 委員会開催数 | 2 回(年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | なし |
| 講習会 | なし |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | 1. 光環境デザインシンポジウム「アラン・ギルクリスト教授講演 - 明度知覚と光環境デザイン」 参加者数 54 名 (資料名): 光環境デザインシンポジウム「アラン・ギルクリスト教授講演 - 明度知覚と光環境デザイン」 |
| 大会研究集会 | なし |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | なし |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. 体系化についてはさらに検討を進める必要がある。(50%程度達成) 2. コラボレーションの仕組みはさらに検討が必要(40%達成) 3. 情報発信のためのシンポジウムを開催した(100%達成) |
| 委員会活動の問題点・課題 | 1. 遠方の委員もいることからメール会議での議論を中心にしているが、議論を活性化するための仕組みを検討する必要がある。 |

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。